

鶴見川流域水マスタープラン アクションプラン 登録依頼書

1. 名称	“鶴見川流域花咲く” アクションプラン	登録番号※ 1	5
2. 目的と内容	自然環境マネジメントでは、【目標 1：流域に残された自然環境を保全する】、【目標 2：水と緑のネットワークを保全・回復する】、【目標 3：身近な自然と共生する都市を再生する】として、多自然川づくりや市民・市民団体、企業、行政の連携・協働による流域貢献を施策の展開方策の 1 つに掲げており、本アクションプランはこの目標の実現を目指すことを目的とする。 市民・市民団体、行政が連携し河川環境の維持管理が進められている。このような中で、鶴見川流域では外来種に関する課題が生じているが、「重要種の保全と外来種駆除に向けたアクションプラン（H21. 3）」や NP0 法人鶴見川流域ネットワーキングによりアレチウリ等の外来種駆除対策が進められてきた。引き続きこれらの対策を進めるためには、多自然川づくりを主としたアクションプランを作成し、市民・市民団体が主体となって活動できる更なる枠組みが必要である。本アクションプランは、NP0 法人鶴見川流域ネットワーキングが中心となり、アレチウリに加え、花粉症誘発植物であるネズミホソムギ等の抑制を目的にノカンゾウ・ハマカンゾウ・ヤブカンゾウ等を植栽し、外来種駆除と併せて高水敷の景観をより良好に改善していくものである。 一方、鶴見川流域の都市化による流域の保水力の低下に対して、雨水浸透を促進してきた。しかし、その取り組みは行政を中心となっており、市民や企業への普及までは広がっていない。そのため、市民や企業へ普及を目的とした保水効果を高める取り組みとして、ノカンゾウ・ハマカンゾウ・ヤブカンゾウ等の植栽を流域内へ展開する。		
3. 策定・実行主体	NP0 法人鶴見川流域ネットワーキング（河川協力団体）、 鶴見川流域水協議会代表事務局（京浜河川事務所）		
4. 対象地域	鶴見川本川・支川（対象拠点：10 地点） みつやせせらぎ公園、関山ワンド、鴨居地区、新羽～新横浜大橋左岸、 綱島地区、鷹野大橋右岸、生麦河口干潟、大曲広場 ビオトープ、鴨居地区の人 道橋付近、佃野付近 流域内（河川区域外）は学校・企業の敷地、公共施設・家庭等への展開を目指す。		
5. 主な水マス 該当施策	自然環境マネジメント 【施策 2】水系・緑地の生態的ネットワーク化 ・外来種の駆除及び自然植生（在来種）の保全・回復に努める（小分類） 【施策 4】市民が身近に自然とふれあえる場の確保 ・市民参加による流域の自然環境管理の推進（中分類） ・自然とふれあう機会の創出（中分類） 洪水時水マネジメント 【施策 2】流域における保水・遊水機能の恒久的な保持 ・既開発地域での浸透機能の回復（中分類）		
6. 実行期間	2024 年 4 月～2029 年 3 月（2024 年度～2029 年度の 5 年間）		
7. モニタリング 指標	ノカンゾウ、ハマカンゾウ、ヤブカンゾウ等の各株数		
8. 添付書類	特になし		
9. その他・特記 事項	特になし		
10. 連絡窓口 公開・非公開※ 2	①組織名 1：NP0 法人鶴見川流域ネットワーキング 事務局 ②住 所：神奈川県横浜市港北区綱島西 2-19-1 ③連絡先：045-546-4337		

	①組織名 2：国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所 流域調整課
	②住 所：神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 2-18-1③連絡先：045-503-4000（代表）

※ 1：登録番号は事務局にて記載

※ 2：上記項目 1. ～ 9. については公開、10. については公開・非公開の選択可

事務局欄

